科目ナンバリング								
授業科目名 <英訳>	イタリア語IIＢ I2152 Italian IIB			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 霜田　洋祐			
群	外国語科目群	分野(分類)				使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）	
開講年度・開講期	2025・後期	曜時限	火5	配当学年	２回生以上	対象学生	全学向	

[授業の概要・目的]

比較的高度なイタリア語の文章の読解。
イタリア語IIA I21Aを履修済の学生（あるいはそれと同レベルの学習を行なった者）を対象とする。
辞書を頼りに、自力でイタリア語のかなり高度なレベルの文章を理解できるようになることを目指しており、必要に応じて文法事項を確認しながら、イタリア語を読み解くスキルを習得していく。

[到達目標]

辞書を頼りに、自力で比較的高度なレベルのイタリア語の文章を理解できるようになることを目指す。

[授業計画と内容]

様々なジャンルのイタリア語テクストを編んだ講読用教科書を読みながら、イタリア語を読解するための技術を学ぶ。
前期に読まなかったテクストのうち、難易度星2つ以上のものを読む。

第１回：授業の内容の説明をした後、最初のテクスト（「フェラガモとアメリカ Salvatore Ferragamo, le sue scarpe nel mondo」）の訳読をはじめる。
第２回～第１４回：短いものは1-2回、長いものは3回ほどの授業で1つのテクストを読み終わる予定で進む。テクストの選択・順番は、参加者の様子を見て判断し指示する。教科書のテクストで足りない場合は、こちらで短編小説などを用意する（プリント配布）。適宜、確認の小テストを行う（予告あり）。
第１５回：期末試験／学習到達度の評価
第１６回：フィードバック（答案を返却して講評を行い、今後さらに力をつけるのに役立つテクストの紹介などを行う）。

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

授業への参加を重要視し、成績は平常点（60点）と定期試験（40点）で評価する。平常点は、予習の内容・発音などをチェックするので、必ず予習をし、できれば教科書付録の朗読音源を聞いてくること。
成績評価基準の詳細については、授業中に説明する。

イタリア語IIＢ I2152(2)へ続く↓↓↓

イタリア語IIＢ I2152(2)

[教科書]

東京大学イタリア語教材編集委員会編 『PIAZZA [Text+CD]』（東京大学出版会）ISBN:4130821172
（前期と同じ教科書。）
教科書のテクストで足りない場合は、プリントを用意する。

[参考書等]

（参考書）
『伊和中辞典』（小学館）

[授業外学修（予習・復習）等]

辞書で語彙を調べ、指定された箇所を読んでくる。その場ですぐに和訳できればよく、きれいな「訳文」を用意する必要はない（用意しないほうがよい）。
どうしてもわからない文もあると思うが、その場合は意味不明な訳をつけるのではなく、１年次のプリント等も参照しながら、何がどのようにわからないのか言語化（主語が不明、動詞が見つからない、など）できるように考えてくるようにしてほしい。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィスアワーは特に決まった時間に設けないが、授業内容に関する質問は授業中に受けるので、遠慮なく積極的に質問していただきたい。また、学習方法等の質問は授業後に教室で受けるので、これも遠慮なく申し出ていただきたい。

[主要授業科目（学部・学科名）]